

2002年

11月号

Stage Up

生涯学習情報誌
ステージ・アップ
通巻 No. 115



「絹糸の館」(クモ) 撮影：川口 道明

- もくじ**
- 2 特集 インタビュー 奥平 哲也さん
 - 4 生涯学習ア・ラ・カルト
 - 6 ぐるーぷBOX / いま地域で学校で
 - 7 まち・ひと・多面体 / 暮らし百景 俳壇
 - 8 イベントパーク / フリーマーケット開催のお知らせ

発行・(財)川崎市生涯学習振興事業団
〈ホームページ〉 <http://www.kpal.or.jp>

〒211-0064 川崎市中原区今井南町514-1
TEL 044 (733) 5560(代)/FAX 044 (739) 0085
ステージ・アップ直通 TEL 044 (733) 5811 E-メール:stage-up@kpal.or.jp

特集 インタビュー

マリンバ演奏家

奥平 哲也 さん

4本のマレットが、生命を吹き込まれたかのように盤上を飛び跳ねる。トレモロで奏でる甘く切ない旋律が、聴衆をノスタルジックな世界へ誘う。「アンコール！」の声次々にあがる奥平哲也さんのマリンバコンサート。高度なテクニックとしなやかな感性で、クラシックから現代曲、歌曲、日本民謡と多彩なレパートリーを持つ奥平さんがマリンバに出会ったのは小学1年の時。「学校の音楽の成績が悪かったので母が習わせた」のがはじまりだったとか。大学卒業後に本格的に学んで28歳から演奏活動開始、いまや全国各地で公演しています。「音楽は歌うこと、マリンバを通して歌い続けたい」と語る奥平さんに、人との出会いから学んだことやご自身が目指す音楽について伺いました。



きらめく感性 いつも育ちざかり 激励と希望こめて独自の音楽を

——奥平さんは、マリンバ演奏家として全国各地で演奏していますが、地元での活動も大事にしていると聞いています。

奥平 声がかかれば、喜んで演奏させていただいています。区民祭、市文化協会、福祉施設や市民館の催し、学校の音楽鑑賞会などでのコンサートです。学校で演奏した時、6年生の子どもが鑑賞会で僕が話したことを題材に作文を書いて市の文集に載った、ということをおと聞い、とてもうれしかったですね。11月23日には、川崎区の稲毛神社で演奏します。社殿の中での演奏は、初めてのことでワクワクしています。日本歌曲、民謡などをソロマリンバ用に編曲して弾きます。

——ところで、マリンバを始めたきっかけはなんですか。

奥平 マリンバを習い始めたのは小学1年の時です。学校の音楽の成績が悪かったので、母からマリンバを与えられたのです。なぜ、マリンバかというと、母が当時活躍していた木琴演奏家の平岡養一さんのファンだったので、その影響もあったようですね。それからマリンバの音楽教室に通うようになりました。

——それからずっと習い続けたのですか？

奥平 小学生の間は、習い事として続けていましたが、中学時代はマリンバから遠ざかっていて、高校時代には自分の好

きな曲ばかりをひとりで弾いて楽しんでいました。大学は歴史的な建築物に興味があり史学科へ進みましたが、マリンバは趣味程度に続けていました。本格的に勉強するようになったのは大学を卒業してからですね。

——20代半ばから演奏家を志したのはなぜですか。

奥平 マリンバの奏者になろうと思ったのは、音楽が好きだからです。音楽は歌うこと、演奏することは歌うことだと思っています。僕は声を出して歌うのは得意ではないから楽器を通して歌い続けていきたい、自分の心に響いた旋律を、何かの楽器で表現したいと思うようになったのです。ソロのピアニストやバイオリニストの世界は、たいへん厳しいです。僕には才能も、それにお金もない、とても無理だと。マリンバなら既成の音楽の世界とは別に、自分のベース、やり方でやっていける、これなら自分の性格にも合っている、マリンバを通して自分の音楽を歌いたいという気持ちが強くなったのです。ところがマリンバは奥が深く、木製のローズウッドの音板をマレットで奏でて音の表情を出す楽器ですから、そう簡単に自分の思い描いた音になりません。それでも練習を積み重ねて28歳の時から演奏活動を始めました。そして活動しているうちに「自分が本当にしたかったのはこれだったんだ」と気づきました。マリンバのソリストとして一生やっていこうと決心がついたのはここ数年のことです。

—これまで歩まれた中で苦しかったことは？

奥平 苦しいと言えども苦しいです。自分の仕事はこれで十分、ということはありませんから模索の連続です。音楽的にもっと豊かでありたいし、これからコンサートを通してずっと研鑽を積んでいかなければならないと思っています。

—マリンバをされていてよかったと思うことは？

奥平 たくさんの方と出会ったことが何よりの宝です。マリンバをしていなかったらこういう出会いはなかったでしょう。ご住職で芥川賞作家の玄侑宗久さん、盲目のテノール歌手の新垣勉さん、画家の星野富弘さんほか、すばらしい方々と演奏を通じて知り合うことができました。さまざまな世界で活躍されている方、建築家、写真家、牧師さん、宮司さんなどと出会い、そういう方々との交流が、僕をより音楽的にしてくれたと思います。気づかされること、教えられることがたくさんあります。それが今の自分を作っているのだと思います。



愛知県内子町にある歌舞伎場「内子座」でのリハーサル風景(提供写真)

—木製楽器のマリンバは湿度管理が大変ではないですか。

奥平 僕は湿度や場所などの条件にあまりこだわらない方です。こだわることは必要ですが、とらわれてはいけません。この楽器じゃないと演奏できないとか、あのホールでなければダメとかではないと思います。何年か前に客船「飛鳥」の日本一周クルーズでソロコンサートを頼まれました。「飛鳥」が石垣島に寄港するので、地元の小学校の体育館で弾くことにした時、船からマリンバをおろすことができないので、小学校にあった木琴で演奏したんです。35度を越す暑さの中での本番でした。「ウィリアムテル」の序曲で始めました。すると楽団の野鳥たちが歌うように鳴き始めました。感動的でした。僕にとって忘れられない思い出です。

話は飛びますが、病院のロビーでも演奏するんですよ。中原区の井田病院の「院内コンサート」です。そもそもこのコンサートは、小児ぜんそくで長期入院している子どもたちが通う院内学級の「青空学園」でコンサートをしたのが発端です。「青空学園」が閉鎖されたあとも、会場を院内のロビーに移してコンサートが定期的に開かれるようになったのです。あれから12年間、毎年かかさず演奏にいらしています。

—奥平さんのめざす音楽とは何ですか。



川崎市教育文化会館で、マリンバと三味線による新作を披露(提供写真)

奥平 マリンバは独奏楽器として多大な可能性を持っています。僕は、人と人とがやさしさに気がつく、人にやさしくなれる、そんな音楽ができればどんなにすてきだろうと思うのです。そういう演奏をめざしたい。今「癒しの音楽」という言葉をあちらこちらで耳にしますが、僕のテーマは「激励の音楽」「希望の音楽」です。それが「奥平の音楽」としてもらえるような独自の音楽を追求していきたいですね。

それと、演奏を聞いてくださるみなさんに、マリンバそのものの音色を味わってほしいですね。余韻、間の存在、微妙なビート感、鼓動みたいなものを感じてもらえればうれしいです。清水の一滴がポトンと落ちる音、次のしずくが落ちるまでの間、それを待つ時のワクワクした感じ、そういう感覚を大切にしたい。演奏というのは、音を出してもすぐ消えてしまうはかないものです。たった一瞬の音、その瞬間に共感の波が広がるような空間をめざしたいですね。

—これからの抱負をお聞かせください。

奥平 僕は、昔からあったもの、変わらないものに恋こがれ、心惹かれます。ライフワークとして、歴史的建造物の中での演奏を続けていきたいです。その時代を生きた人たちの思いがいっぱいつまった建物で、そこに刻まれた歴史を感じながら演奏することが喜びです。例えば酒蔵。そこにいると、おいしいお酒を作っている、いいものを作っているという当時の人々のこだわりや愛情、喜びや悲しみが感じられるんです。いつか日本民家園で演奏してみたいですね。民家園は川崎の宝、日本の宝だと思っています。

それから、子どもたちに生の音楽に接する機会を作りたいですね。自分も、小学6年の時にチャイコフスキーの「くるみ割り人形」を聞いて感動した体験があります。生の音楽、その時しかない音楽、CDで聴くのとはちがう音楽の空気をたくさん吸って、育てて欲しいですね。僕もまだ育ちざかりですよ。

奥平 哲也 さん (おくだいら・てつや)

マリンバ演奏家。1959年、川崎市生まれ。今日まで、重要文化財、近代化遺産など歴史的建造物内でのコンサートをはじめ、星野富弘美術館開館10周年記念コンサート、立松和平講演での演奏、宮内庁献上ビデオ音楽、豪華客船「飛鳥」日本一周クルーズ・ソロコンサートなどを行う。海外では、ハンガリー国立人形劇場などでヨーロッパ公演を行う。また、教育場面におけるスクールコンサートは定評を得ている。現在、溢れるメッセージで注目を集め、全国各地にて活躍中。幸区在住。

●まなぶ●

かわさき市民アカデミー学園祭

—会場は川崎市生涯学習プラザ—

かわさき市民アカデミーの受講生が企画・運営する「第8回学園祭」が11月22日(金)～24日(日)まで川崎市生涯学習プラザを会場に行われます。講演・展示・発表など多彩な催しがいっぱいです。皆様の御来場を心よりお待ちしております。



OBたち
学園祭で演奏したアカデミー

【11月22日】

- ①オープニング演奏会「世田谷カルテット(クラリネット)」
- ②記念講演「イラクとアメリカ」アジア経済研究所 酒井啓子
- ③展示「多摩丘陵の緑地保全とまちづくり」(24日まで)
- ④展示「地域から災害を考える」(24日まで)
- ⑤講演「日本人はなぜ狐にだまされなくなったか」哲学者内山節
- ⑥研究発表「福祉と地域性を考慮したまちづくり」

指導 建築家 連健夫

- ⑦講演「太平洋戦争への道」和光大学名誉教授 原田勝正
- ⑧講演「ピカソ展によせて」桜美林大学名誉教授 末永照和

【11月23日】

- ⑨講演「日本経済の現状と将来」東京大学教授 伊藤正直
- ⑩講演「地球温暖化の真実」

東京大学気候システム研究センター長 住明正

- ⑪講演「日本歴史の争点」ジャーナリスト 西島建男
- ⑫講演「ブッシュ政権におけるアメリカの外交」

慶応義塾大学教授 久保文明

- ⑬講演「ボケなんて怖くない」

幸クリニック院長 杉山孝博

- ⑭講演「開高健の闇」元中央公論社「海」編集長 宮田毬栄
- ⑮講演「近代文学を語る」作家 三田誠広

※⑮の講演は先着60人(要予約)

【11月24日】

- ⑯講演と演奏「日本音楽の楽しみ」

放送大学客員教授 竹内道敬ほか

- ⑰朗読「明治を読む」指導 笠原美保 熊谷多佳子

【11月21日】

- ⑱オペラ鑑賞「モーツァルトの歌劇」

(市民フロンティア主催：会場は国際交流センター)

問い合わせ 学習事業室 ☎044(733)6626

生涯学習ア

●たのしむ●

「冬休みスノーボード教室」開催

冬休みに、屋内ゲレンデで「スノーボード」に挑戦してみませんか。

《期 間》 12月25日(水)～12月27日(金)

《コ ー ス》 ①1日コース 9時半～11時
(期間中のいずれか1日)

②3日間コースA 12時～13時半

③3日間コースB 14時半～16時

《対象・定員》 全コースとも小・中学生各15人

《受講料》 1日コース……3,000円
3日間コース…9,000円
(道具類のレンタル料と保険料を含む)

《会 場》 スノーヴァ溝の口
(南武線「津田山駅」下車徒歩2分)

◆申し込み◆12月16日(月)必着で、往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、身長、くつのサイズ、きき足、電話番号、希望コース名(1日コースは希望日)を記し、下記にお送り下さい。

〒211-0064 中原区今井南町514-1

川崎市生涯学習振興事業団 スポーツ事業室

問い合わせ スポーツ事業室 ☎044(733)5572

川崎市子どもの権利に関する条例—その17 かわさき子どもの権利の日のつどい

11月20日は川崎市子どもの権利に関する条例で定められた「かわさき子どもの権利の日」です。1989年のこの日、国連総会で「子どもの権利条約」が採択されました。川崎の子どもたちが世界の子もたちともつながっていけるように、またおとな・子どもに広く子どもの権利について理解してもらうために制定されました。

この「権利の日」にちなんで、「子どもの権利の日のつどい」を11月17日(日)午後1時～4時、川崎市中原市民館ホールで行います。第1部は、漫画家で『赤ちゃんがきた』等のエッセイも執筆されている石坂啓さんをお招きして、『子どもは未熟なの?』というテーマで講演をしていただきます。第2部は、子どもの権利に関わる活動をされている団体・グループ等によるリレートークを行います。ここでは、人権オンブズパーソン・かわさきチャイルドライン・かわさき子ども集会等に現在の活動状況や今後の展望などをお話していただきます。様々な角度から子どもの権利について考えられるような3時間にしたいと思いますので、みなさんぜひご参加ください。参加自由です。

問い合わせ 市民局人権・男女共同参画室 ☎044(200)2344

ラ・カルト

●はぐくむ●

冬の八ヶ岳でスキーを楽しもう

川崎市八ヶ岳少年自然の家では、今年も下記の通り「八ヶ岳親子スキー」を実施いたします。雄大な銀世界の中で、家族そろってスキーを楽しみませんか。

- 日 程 平成15年2月21日(金)～23日(日) 2泊3日
 出発は21日19時頃、帰着は23日19時頃
 往復バス。集合・解散場所は南武線谷保駅
- 会 場 富士見パノラマスキー場
- 宿 泊 川崎市八ヶ岳少年自然の家
- 対 象 市内在住・在学の小学3年から中学生までの
 児童・生徒とその保護者
- 定 員 80人(抽選)
- 費 用 21,000円(バス・食事・レッスン代含む)
- 申し込み 平成15年1月4日(土)～24日(金)まで。
 往復はがきに郵便番号、住所、参加者全員の
 氏名、年齢、性別、電話番号を記し、下記あ
 てにお送りください。
 〒399-0101
 長野県諏訪郡富士見町境字広原12067-482

問い合わせ 川崎市八ヶ岳少年自然の家 ☎0266(66)2011

●さがす●

あなたの学びを応援します

—「生涯学習情報コーナー」—

「生涯学習情報コーナー」は、教育文化会館1階と高津市民館11階(ノクティ2)にあります。行政関係・民間団体・市民グループのお知らせや催し物などのパンフレットやチラシが置いてあり、自由に手にすることができます。それらを眺めているだけでも楽しく心豊かな気持ちになれるコーナーです。そこには、相談員がおり、「パソコン講座はどこで?」「サークルに入りたい」「今月のコンサートは?」など、皆さんの求めている情報の相談に応じていますので、お気軽にご活用下さい。ちなみに、昨年度はコーナー利用人数が14,000人、相談件数は1,900件でした。

■相談員のいる曜日と時間■

教育文化会館 火～土曜(9時～16時)

高津市民館 火～木曜(13時半～16時半)

問い合わせ 学習情報室 ☎044(233)6250

ハート & ハーモニー Vol.27

ナラティブ・メディシン

ナレーション(語り)と同じ語源のナラティブ・メディシン(物語の医療)は、これからの医療では主流になるであろう「EBM:エビデンス・ベイスト・メディシン(根拠に基づく医療)」を補うものとして提案されています。医療が科学的、疫学的な根拠に基づいて行われなければならないことは、まだ徹底しているとは言えません。

「なぜその治療か?」に十分な説明があり、同意して選択をし、納得をすることは、守られるべき患者の基本的な権利です。その医療の根拠を科学的にも明らかにして、納得の行く選択をできるようにすることは必要なことです。しかしそれだけで十分でしょうか? 治療成績を根拠にすれば、早期発見されたガンには積極的な治療を勧めるのは明らかですが、それに対しても「積極的な治療をしない」という選択を希望する人がいます。この人は単に少数で風変わりな価値観なののでしょうか?

ナラティブ・メディシンでは、人間は自分自身の物語を生きていると考えます。例えば健康的な生活を送ることは、その物語の可能性や中身に貢献することが多いでしょうが目的ではありません。病気になることも筋書きを大きく変えるでしょうが、病気の物語を生きたいと願う人は少ないと思います。治療に熱心になる人も、自分の病気をことさらに軽視しようとする人も、その人がどんな物語を生きているかに注目すれば理解できることがあります。

エビデンス・ベイスト・メディシンの欠点は、根拠であるデータが「自分以外の大勢の他人のもの」である点です。その平均値は、自分自身の人生を決める指針としては、さして期待できません。治療が「賭け」である場合、医師は期待値の大きい賭けを勧めるかも知れませんが、それが本人の価値観と一致するとは限りません。スポーツの好みを見れば分かるように、人生には誰しも、自分なりのひいきや思い入れがあるのです。

個人の物語を尊重する考え方は、精神医学やQOL(生活の質)の向上、ホスピス、痴呆症への対応などの分野でも浸透してきています。「癒し」の考え方も、一般的に心理的な安寧をもたらす効果よりも、物語の中でなにかその人の癒しになるかが優先するはずで、科学的なエビデンスを蓄積して、より納得のできる判断の助けとする一方で、こころが納得のできる物語を生きることも、お互いに尊重し合ってサポートしたいものです。

(健康教育担当 スポーツドクター 野田晴彦)

ぐるーぷBOX

宇宙大好きな青少年の居場所！

「日本宇宙少年団川崎分団」

「サン・ニイ・イチ・スタート！」リーダーのカウントダウンの声と同時に発射台からペットボトルロケットが勢いよく空中に飛んでいきます。「やったー！」子どもたちの歓声と拍手が、川崎市青少年科学館の前庭に響きます。これは、「日本宇宙少年団川崎分団」(箕輪敏行分団長・団員21人)の活動のひとつです。

宇宙少年団(YAC)は、青少年に宇宙や科学の普及を目的として1984年アメリカで結成された国際組織です。日本宇宙少年団は1986年に発足し、その下に全国に分団があります。川崎分団は1999年10月に設立され、現在小学2年から高校1年までが、青少年科学館を拠点に宇宙観測、撮影、実験などの活動を毎月1回楽しく行っています。

伺った日は、各自が持参した丸型ペットボトル5本でロケットを作り飛ばす実習に取り組んでいました。タンクやスカート、ハネを作成。切断や貼り合せ、結合、取り付けなど、カッターナイフやはさみ、ビニールテープを使って完成させます。子どもたちははてこずりながらも、でき上がるとお互い見比べ合って満足そうでした。

打ち上げは、エンジンタンクに水を入れ発射台に固定し、自転車の空気入れで空気を注入。周囲の安全を確認してリーダーの合図で、子どもたちはスイッチを握ります。苦心して作ったロケットが、予想外に100メートル以上も飛んでいくのを目撃した子どもたちの瞳は一段と輝いて見えました。

「この団員の中から将来の指導者が出てくれると嬉しい」と指導する内野哲さんは期待を込めて話していました。11月は惑星・星雲・星団の撮影と観察、12月は土星とM45の撮影など3月まで楽しい企画が一杯です。

◆定例会：主に月1回、土曜日、又は、日曜日

◆場 所：主に川崎市青少年科学館

◆連絡先：☎(922)4731の青少年科学館の国司さん



いま地域で学校で

育てた花を贈りお年寄りと交流

—向小学校の2年生—

川崎区の向小学校(塩崎峯子校長、児童数328人)の2年生60人は、自分たちで育てた花を、「大島老人いこいの家」にプレゼントし、そこに集うお年寄りと囲碁や踊りで交流しました。

2年生の生活科では、自分たちの住む地域について学習しますが、同校では「とびだせたんけんたい」と名づ



けて、グループごとに図書館、お寺、交番など15・6カ所を訪ね町の様子を調べました。地域を知るだけにとどまらず、人とのかわりも大切にしたいと、花を育てて贈ることにしました。

1学期に、コスモス、フウセンカズラ、オジギソウの種を蒔き、みんなで育てました。花々が見事に咲きそろうた9月、「とびだせたんけんたい」の時にお世話になったお寺や図書館に届けると、たいへん喜ばれたそうです。そして、お年寄りとも仲良くなって、小学校の運動会に来てもらおうと、「大島老人いこいの家」へ花を届けることになりました。

リヤカーに花を積んだ子どもたちは「この花、喜んでもらえるかな」「一緒に遊べるかな」と友達と話しながら運んで行きます。いこいの家では大島地区社会福祉協議会会長の岩崎太左衛門さんと集まっていたお年寄り40人が出迎え、代表の子どもから岩崎さんに花のプランターが渡されました。「子どもの声が響いているのはいいものですね」と終始笑顔のお年寄りと踊ったり囲碁をしたりしてにぎやかに交流しました。

塩崎校長は「存在を認め合い、温もりや優しさを感じる心が育ち、豊かな人間関係を培っていく力になればいいですね」と語っています。

まち・ひと・多面体

生涯健康で美しく生きる

「川崎市一般体操連盟」

川崎市一般体操連盟（福島真佐子会長、39団体加盟）は、競技を目的とせず健康増進や楽しみで運動をしている団体の集まりです。その発足のきっかけは13年前。当時は、市民の健康志向が高くジャズ体操、エアロビクス、親子体操、太極拳などの運動が、市民館や体育施設で盛んに行われていました。「一つにまとまってお互いに高め合うことをしたらどう？」と、体育館職員の一言葉をきっかけに、運動グループの指導者が集まり「体操フェスティバル実行委員会」を結成して実施したのが始まりです。それから毎年開催するようになり、参加団体、会員も増えたので組織を整えて現在に至っています。

伺った日は、11月の体操フェスティバル開催に向けて打ち合わせをしていました。「ここまでやってこれたのは、参加者の熱い思いとパワー、それに若い人たちが積極的に運営に参加・協力してくれるので、現在の1000人規模の大会ができるのです」と、福島会長は感無量に話していました。体操の魅力について「人間の体力には個



人差があるので、自分に合う運動をそれぞれのペースでいつまでもすることができるとのことです」と語ってくれました。

これからの課題として「日頃の活動場所が確保できないのが悩みですが、生涯を健康で暮していくために、会員を増やし内容をもっと多彩にし、あらゆる世代の市民にアピールしていきたい」と話していました。

同連盟では11月16日(土)9時から川崎市とどろきアリーナで「体操フェスティバルかわさき2002」を行います。問い合わせは☎070(5597)6721の石毛さん。

くらし百景

末広句会

俳壇

助つ人の来る剪定の高梯子
芽ぶきそむ癒えて鉦に陽がきらら
卒業式はじまるピアノ第二音
秋晴に米寿の祝受けにけり
帰省子に古き門扉の夕日かな
補装具をまつ整へて初句会
鷹山の訓へに生きて芋煮会
諍ひのほてり寒夜の灯がほしく
沈下橋岸にコスモス咲き乱れ
石松の墓の鎮もる竹の春
帰省子に老ひしと思ふ父の髭
小財布を忘れて戻る春の昼
二〇三高地天気晴朗秋の雲
浅草やゆくりなく会う菊供養
拜殿に裸電球秋深し
目にしみて美術の森の初桜
萩散りてしのびよる風五合庵
父母眠る寺に吟行梅薫る
パノールの黒一色や街の中
遠く見る楓の紅の艶やかに
野の花を束ねて摘みぬ秋日和
春風や金平糖のこぼれ落ち
皆立ちて炬燵布団の遊びけり
玉垣に古き町の名つじ咲く
涅槃会や菩薩に似たる寺女房
花野道嫁と揃ひの靴かろし
虜囚より生き得て八十路麦を踏む
早乙女の一人に光る千枚田
蹴鞠まつ礼の森の淑気かな
枝垂梅光琳屋敷のたたずまひ
一期一会禅僧の軸文化の日

※俳人協会会員で俳誌「方円」の編集をされている鈴木やす江先生を中心とし、中原市民館において会員の「和」を大切に俳句を楽しんでおります。

代表 和田 稔

- 鈴木やす江
- 曾我 孤泉
- 和田 稔
- 久保 慎三
- 小松 敏夫
- 佐藤 いよ
- 福田 秀子
- 野中 和子
- 中村 昭三
- 鈴木 りよ
- 新倉 裕子
- 関内 静子
- 佐藤 正和
- 竹内 ゆき
- 中村 恭子
- 小川 あさ子
- 土谷 ミス
- 小川 俊子
- 増田 恵湖
- 松本 文子
- 桑山 幸智恵
- 万木 八重子
- 稲垣 キミ
- 清水 好子
- 中西 さち子
- 大谷 富恵
- 船山 錦一
- 萩原 三郎
- 萩原 悦子
- 山本 明日香
- 佐藤 漢子

情報コーナー イベントパーク 講座・コンサート他

●中村正義「顔の自伝」展

11月30日(土)まで。会場は麻生区細山の中村正義の美術館。1966年に開催された個展を再現したフロアや挿絵を中心にした作品。一般500円、大高生300円、小中生200円。11時開館。開館日は金～日曜と祝日。☎(953)4936。

●神奈川の浮世絵展～大山・箱根

11月5日(火)～22日(金)。場所は川崎区の砂子の里資料館。江戸後期の作品約50点。300年前の東海道川崎宿の模型展示。無料。10時開館。日祝休館。☎(222)0310。

●ミニ画廊スナック琴①水彩画展②写真展

①11月4日(月)～16日(土)。山本留里の人物・植物作品。
②11月18日(月)～30日(土)。金子隆一の日本の美紅葉作品。展示無料。☎(544)0507。

●「夢幻巡礼 映画美術監督・木村威夫の世界」展

11月23日(祝)～1月19日(日)。会場は川崎市民ミュージアム。開館9時半。映画セット再現、ラフ・スケッチ、デッサン、設計図などを展示。映画美術や美術監督の仕事を多面的に紹介。一般900円、大高生600円、中学生以下と65歳以上は無料。期間中の土日に、木村氏が担当した作品の中から30本を特別上映。詳細は☎(754)4500。

●総合自治会館作品展

11月16日(土)17日(日)の10時～17時(17日は16時まで)。同館利用団体による皿絵付、木芸画、水墨画などの展示ワウクレレ、マンドリンなどの演奏。☎(733)1232。

●しまりすミュージックホール～気楽な音楽週間

11月12日(火)～17日(日)、麻生区王禅寺東の同ホールで。アイルランドの民族音楽、バロック、ジャズの器楽演奏。1000～2000円。詳細は☎(988)9188ミュージックワンダーランド。

●第44回お散歩コンサート～一緒に歌おう！

11月23日(祝)14時開演、川崎市教育文化会館大会議室。声楽家の古渡智江さんの指導で童謡や唱歌などを参加者全員で歌う。無料。特別出演は「こすもす女性合唱団」「APA木曜会合奏団」。☎(233)6361の教育文化会館内同実行委員会。

●麻生合唱団定期演奏会

11月3日(祝)15時開演。会場は多摩市民館大ホール。モーツァルト「レクイエム」「戴冠式ミサ曲」。指揮は三石精一。伴奏は東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団。指定席A3500円、B3000円。☎(986)9144同事務局の鈴木さん。

●ランチタイムコンサート～クラリネットとの旅

11月20日(水)12時15分開演、市役所第3庁舎ロビー。出演は鈴木生子(クラリネット)中田良(ピアノ)。クライスラー、ガーシュイン、日本の歌などの小品を演奏。無料。☎(222)8821の川崎市文化財団。

●川崎市民プラザ映画劇場

12月7日(土)「少林サッカー」を上映。時間は11時と15時。無料。先着500人。☎(888)3131。

●平まなびあいグループAndante講座

11月8日(金)「習う・教わる・学ぶ」。講師は関根秀樹・和光大学講師▽11月28日(木)「共に生きる」。グループ「糸の詩」代表栗田佐穂子さん▽12月6日(金)「続・母を生きる・自分を生きる」。臨床心理学研究者の小沢牧子さん。場所は宮前区の平こども文化センター。時間は10時～12時。各1000円。3歳以上の保育あり。☎・Fax(865)8056の堀内さん。

●川崎市民プラザ社交ダンス特別講習会

12月21日(土)13時から、市民プラザ屋内広場。ワルツとジャイブの講習。初・中級者対象。受講料2500円。定員男女各25人。☎11月9日(土)よりプラザフロントへ。☎(888)3131。

●「クリエイト科学館」一般公開

11月17日(日)14時～16時。場所は麻生区黒川の発見工房クリエイト。科学遊具の公開▽人工夕焼け▽プラズマ原理の解説▽工作など。対象は小学4年～成人。参加費は小中学生500円。大人1000円。☎・Fax(981)1892。

●市民天体観望会

11月16日(土)、18時半～20時。場所は麻生区細山の川崎授産学園。月面・土星、冬の星座他を観望。雨天時は室内で天文集会。無料。当日直接。☎(954)5011。

表紙写真 撮影者からひとこと

『アタシたちは何故か人々に嫌われている
街なかに棲んでいる友だちが言ってたぞ
大事な棲みかをいつも壊されるんだと
それに比べここは天国だよ
以前にも見ただろ 真珠で飾った館を
公金をくすねたんじゃなくぞ 自前だぞ』

私は携帯のスイッチをきり
長靴姿で彼らの豪邸を訪ねる

日本写真作家協会会員 川口 道明



掘り出し物いっぱいフリーマーケット開催のお知らせ

(財)川崎市生涯学習振興事業団では、「かわさき市民アカデミー・学園祭」に合わせて、フリーマーケットを開催します。思いがけない掘り出し物が見つかるかもしれません。大勢の方々のご来店をお待ちしております。

◆日時…11月23日(祝) 10時～15時(雨天の場合は中止)

◆場所…川崎市生涯学習プラザ 駐車場(武蔵小杉駅より徒歩12分)